



■ あるセミナーを受けて 会計監査 君塚 範男

写真：新潟県星峠の棚田(H.T)

初夏のすがすがしい季節を迎えていますが、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。



この過ごしやすい季節は大変短く、やがて鬱陶しい梅雨を迎え、すぐ猛暑がやってきます。

体力を整え、来る暑い夏、猛暑を乗り切りましょう。

▶ 昨年6月、このシニアクラブ便りで現在の私の仕事内容について紹介させていただきましたが、水戸市内のある施設で障がいをお持ちの皆さんをサポートする業務に取り組んでおります。健常者相手の仕事とは違う対応もあっていろいろと気を遣う場面もあります。そのようなときには、上司や先輩、同僚スタッフなどに助けられながら充実した毎日をすごしています。

▶ 最近、友人の誘いもあってあるセミナーを受講する機会を得ました。地域の行政機関が主催となって開催された高齢者向けの勉強会で、内容は「日本教育と海外教育の違いについて」でした。

現在の仕事と関係があるか否かは分かりませんでしたが、毎日人との対応に追われる身として、「教育」という観点からのセミナーには興味がありました。この講座には20人ほど参加していましたが、中には、現役を退かれた学校の先生もおられたかと思います。皆さん熱心に受講されていました。

▶ 私自身、過去に何度かセミナーを受けてきていますが、今回のようにシニアの皆さんと机を並べて勉強するのは初めてで不思議な感覚を覚えました。

▶ セミナーの内容については、私自身、なんとなく違いがあることは漠然とわかってはいましたが、改めて話を聞いてみて大変勉強となりました。

内容について簡単に述べてと（日本 vs 海外）

1. 知識詰め込みで社会性を重視 vs 創造性や自己表現を重視
2. 講義形式で受動的な学び vs グループワークやディスカッションで主体的な学び
3. 上下の師弟関係 vs フランクな師弟関係
4. 評価基準では学力 vs 学力+ボランティアなどの社会活動

セミナーでは、多少、日本の教育に課題があることが強く協調されていたように感じましたが、教育の場というフィールドで個々人の成長をいかに考えるのかが、大切なポイントといえるでしょう。

▶ 日本の教育と海外の教育にはいくつかの顕著な違いがあり、それは文化、歴史、社会的背景に基づいており、教育の在り方は国や地域の特性を反映しています。それぞれの利点や課題を理解し、必要に応じて柔軟な教育アプローチを取り入れることが重要と考えます。

▶ 受講した内容を現在の業務にどのように活かしていけるかはこれからよく考えていかなければなりません。自分自身の知識領域を少しでも増やし社会の役に立てるような人間形成に繋がればと思う次第です。

シニアを対象とした県や市の無料セミナーは今後も時間を見つけて参加したいと思っています。

■ Online 会合報告 (2025. 05. 27)

新聞のトップ見出しは世相を表しています。

今年初頭からはトランプ

大統領関連が台頭しロシアウクライナ戦争は若干引っ込んでしまいました。直近では年金やコメ価格の話題が多く載るようになった感があります。

今回は、そのコメ問題から話が始まりました。

<http://jvc-senior.com/20250527online2.pdf> 参照



■ 日本製鉄の US スティール(USS)買収?

この件は米国バイデン政権の時にも反対が唱えられていました。USS自身としては日本製鉄の買収提案を受け入れていたのに、民間企業の経済活動に政治が介入するという問題に発展していました。その背景には全米鉄鋼労組の面子や大統領自身の人気取りといった問題があったようです。トランプ氏も「投資はよいが買収はダメ!」と言ってきたのにここにきて一転、「買収が認められた」との報道が出て来ました。

トランプ氏のSNSに“Partnership”と書かれたことから、一部にはこれを“買収”と捉えたようでした。

トランプ氏の発言には世界中が惑わされています。5月末、自らUSSに赴き話をしていますがこの“Partnership”の進展はどうなるのでしょうか。

■ 大企業のリストラ⇒経営の合理化

日産が横浜の本社建物を売却、国内7工場のうち2工場を閉鎖するとの噂が出ています。かつてシニアクラブで工場見学をしたことがある追浜工場がその対象となっているようです。最終検査をパスした車がどんどんと送り出され、直ぐ隣のヤードには船積みを待つ車が整然と並べられていました。

あれから20年、業界地図も随分と変化してきているのでしょう。国内生産不振による工場閉鎖で2万人ものリストラが計画されると言われています。

一方でパナソニックも1万人規模のリストラを行うと発表しています。会社は黒字経営を続けていますが、日本のお家芸だったAV機器や白物家電などは海外にその立場を奪われて久しく、将来を見据えて企業の中身を変えていく必要があります。

グローバル化による産業の再配置と国内の人口構成の変化は業種、職種別就業者の需給バランスを大きく変化させています。大企業もこれに対処する必要に迫られているのでしょう。

■ 令和の米騒動

「令和の米騒動」という言葉が今年の夏ごろ報じられて以来すでに1年近く経っています。秋に新米が出回れば収まると思われていた筈のものが一向に収まらず年を越して現在に至っています。

政策が悪いのか流通が悪いのか、誰かが買い占めて隠しているのか、その原因はよくわかりませんが、コメ売り場には商品が少なく価格は昨年春ごろに比べて倍以上になっています。



国は備蓄米放出で価格を下げる狙いがありましたが、その効果は遅々として現わず、のようです。

5月21日の国会における党首討論で石破首相と国民民主党玉木代表との間で5kg4千円を超えるコメの価格について討論がありました。

石破「4千円はあってはならない、3千円台が妥当」
玉木「3千円台に下がらなかったら責任取るか」と。

そんな中で「コメを買ったことがない」との発言で“庶民感覚ゼロ”の江藤農水大臣が辞任に追い込まれ、小泉新農水大臣の就任で一気に事態は動きだしました。5月31日に2千円台で市場に出たコメは瞬く間に完売とのことです。

国会での討論より、即断実行が功を奏していません。しかし備蓄米放出は一時的な策でしかありません。これからの継続的なコメ生産と安定供給に国として根本的な取り組みを期待するところです。

■ 事務局から

・ シニアクラブ HP に「思い出の写真館」コーナーを設置しました。シニアクラブ活動は H26 年度(2014 年)以降は年間活動報告としてまとめられて会員の皆様に送付され、HP 上にも記録が残されています。それ以前はシニアクラブ便りに都度報告があるも、まとめられた形にはなっていません。

このコーナーはシニアクラブ創設の H14 年(2002 年)～H25 年(2013 年)の活動をまとめるページとします。

まずは <http://jvc-senior.com/page903.html> ご覧ください。H18 年(2006 年)に実施の左欄記事「日産追浜工場見学」時の写真を載せました。パソコンが壊れてしまったり整理が悪かったりして、私の手元ではデータが散逸しています。

皆様のお手元にこのような記録があればお寄せください。



・ 参院選が来月に迫りました。写真は5月9日にJAM千葉シニアクラブの会合で抱負を述べる「郡山りょう」氏。

全国を駆け巡り様々な人と対話を重ねています。皆様のご支援をよろしくお願いします。

郡山りょう <https://www.ryo-koriyama.jp/>

事務局長 田代 周